スポーツコーチングAI 中京大学工学部 道満研究室

概要

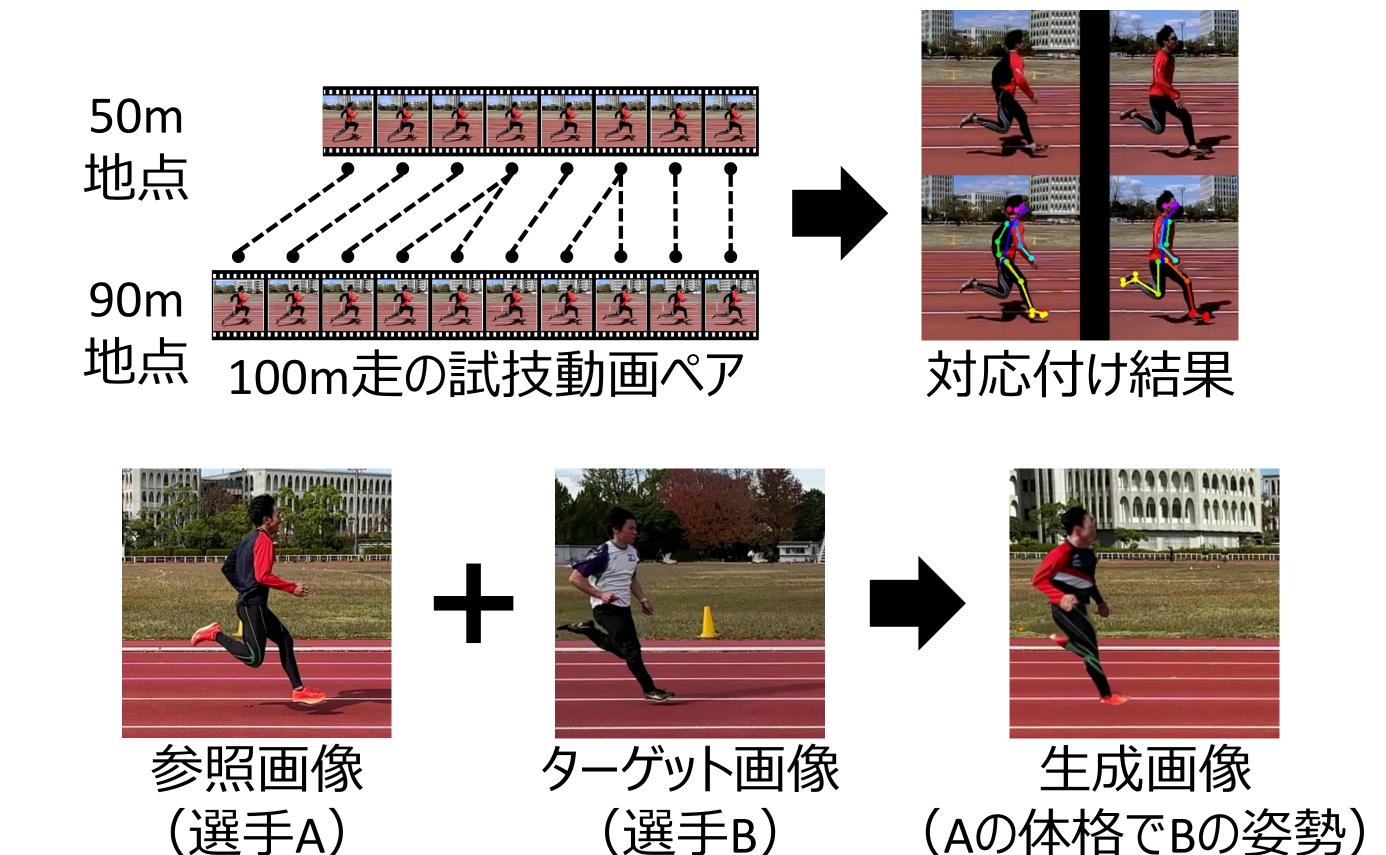
コンピュータビジョン技術を用いた各種スポーツ競技におけるコーチングAIを開発中

- ●フォーム・戦術解析: 試技動画から各選手の姿勢・位置, アクションのタイミングや種類を認識
- フィードバック: 試技動画中の試技の良し悪しを判定または演技をスコアリング
- イメトレ促進: 試技動画中の選手のフォームを任意に変換

陸上競技(短距離走)

目標:フォームの問題点発見・改善支援

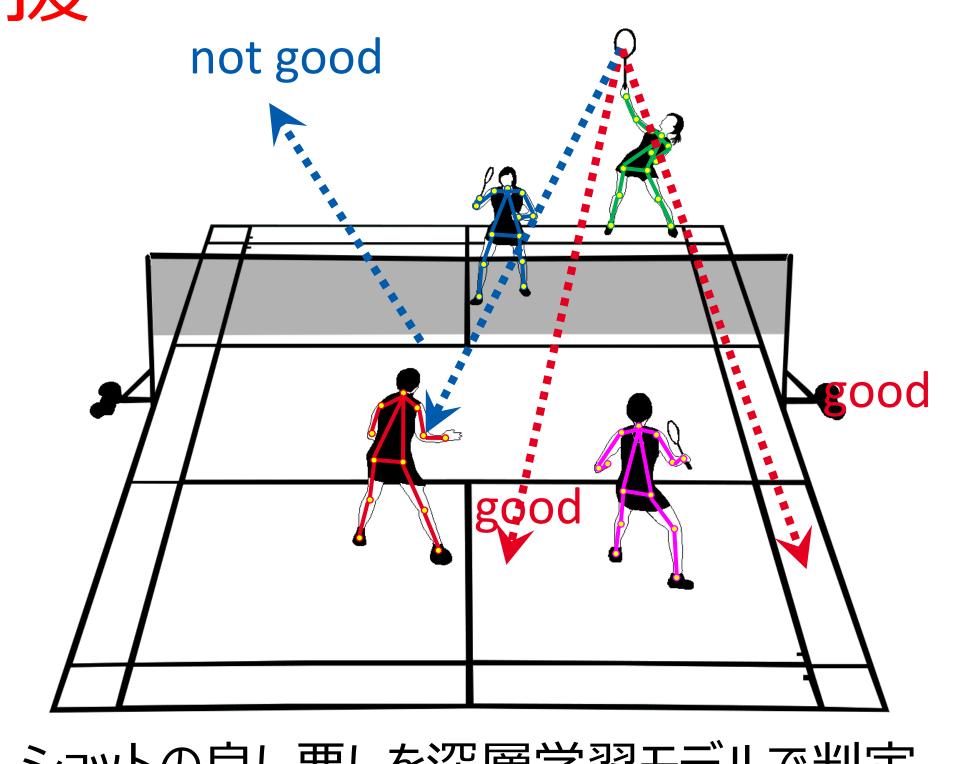
- 技術3a: 長さの異なる動画間のフレームマッチング
- > 走行動作のタイミングを揃えて試技動画対を対応付け
- → 同期再生によるフォームチェックを容易化
- 技術3b: 走者のフォーム変換
 - > 見た目を維持して自身のフォームを任意に変換
 - → フォーム改善のためのイメトレを支援



ラケット競技(バドミントン)

目標:フォーム・戦術の解析・改善支援

- 技術1a: 姿勢推定・アクション認識
 - > 各時点での選手の位置・姿勢を認識
 - > 各ショットのタイミングや種別を認識
- 技術1b:ショットの良し悪し判別
 - ▶ 互いの姿勢や位置関係を考慮して ショット選択の妥当性を判定
 - → 試技の振り返りや改善を支援



ショットの良し悪しを深層学習モデルで判定



良い姿勢でのスマッシューリスク低

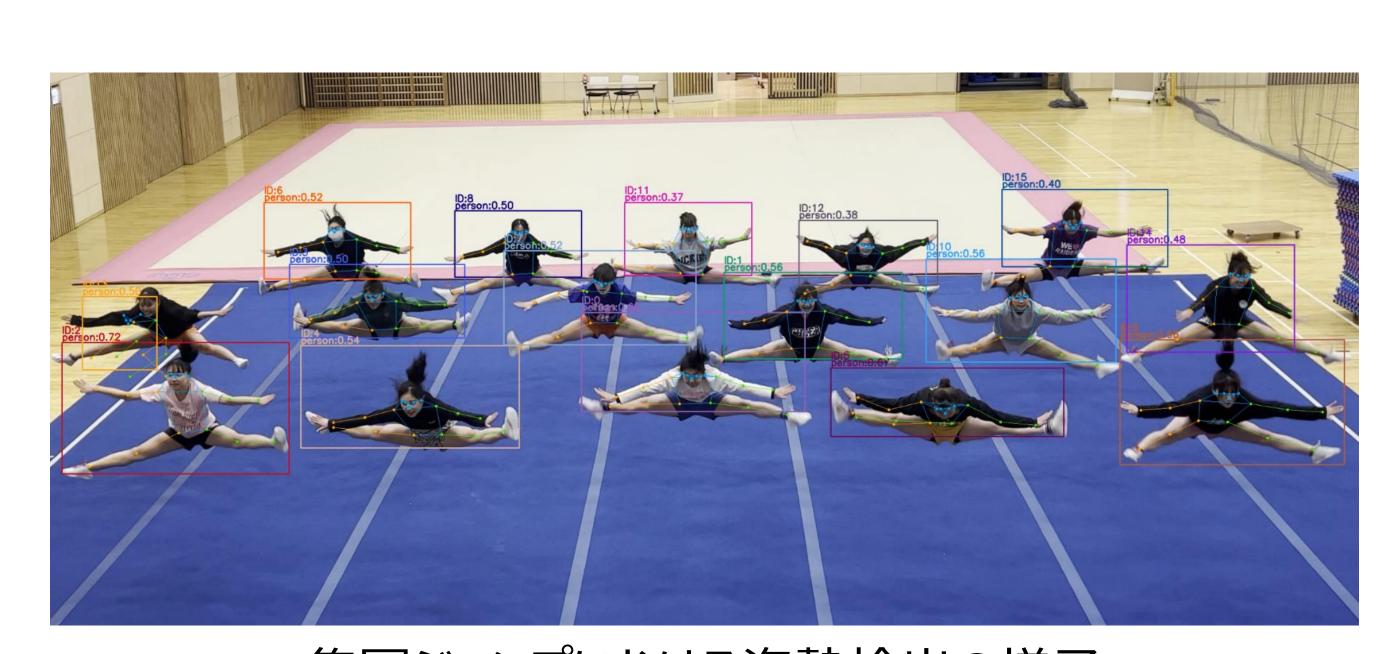


崩れた姿勢でのスマッシュ
→リスク高

チアリーディング演技競技

目標:個人・全体の演技力向上支援

- 技術2a: 姿勢推定・アクション認識
 - > 各時点での選手の位置・姿勢を認識
 - ▶ 各アクション (例: ジャンプ) のタイミング・種類を認識
- 技術2b: 各選手の演技のシンクロ性評価
 - ▶ 各選手の演技が時間的・空間的に揃っているかを 曲のリズムと動作の一致度に基づき判定



集団ジャンプにおける姿勢検出の様子

